

新型コロナ禍における認知症介護 Web 研修 ～山形県老人福祉施設協議会の試み～

山形県認知症介護指導者 山川 淳司

キーワード: 新型コロナウイルス、介護人材不足、
Web 研修、帰宅願望(欲求)

活動の概要(活動の主体:その他)

【活動目的】

山形県老人福祉施設協議会において、新型コロナウイルス感染予防の観点から、動画視聴による研修を企画した。認知症介護はどの事業所においても共通のテーマであり、かつ必須のものであることから、より幅広い職員層が、いつでもどこでも見ることができる Web 配信方法を用いて、協議会職員の「認知症対応力向上」の学びとなることを目的とした。

【活動内容】

協議会会員事業所職員に対し、下記の講義内容の Web 研修を youtube 配信にて実施した。

◎講義内容

「帰りたい！」あるあるとその対応のヒント～帰宅願望場面における認知症ケアの考え方～
(前半・後半、後半に「対応イメージ動画:不適切 ver・適切 ver」)※合計約 50 分

【講師:山形県認知症介護指導者(山川)】

活動のきっかけ、背景(指導者として・理事としての立場で)

令和 2 年度の新型コロナ禍の社会情勢と加速する介護人材不足の現状において、集合研修会の開催や参加が困難であるという事由に対応するため、Web 研修の機会を設け、認知症介護の資質向上を目指すべく企画し配信した。

活動の経過と成果

【活動の経過】

*協議会での企画検討 令和 2 年 5 月 協議会事務局、研修担当理事(認知症介護指導者):山川、認知症介護指導者 1 名

*動画撮影 令和 2 年 8 月 10 日

*受講申込 令和 2 年 9 月上旬から受講申込書を受付し、資料等配布

*動画視聴 令和 2 年 9 月 9 日から 10 月 31 日

*配信方法 youtube アクセス先記載 PDF(動画視聴リンク先及び資料ダウンロードの方法)

*研修振り返りシート返送 視聴後随時

*まとめ 令和 2 年 11 月

【活動の成果】

◎振り返りシート(上記データを含む)からの評価

*キーワードとして「本人の思いへの気づき」、「方法・ヒント」が数多くあった。

*まずは「本人の思いへの気づき」が重要であるということを理解してもらえたと評価する。

*介護現場の職員は、ケアの「方法・ヒント」を期待している。

*「実際に活用してみた」が 6 名存在する。求める評価としては、「実際活用してみてどうだったか」が重要であることから、その後の追跡調査を行っていきたい。【達成状況の評価は今後】

今後の展望

*人員不足で、今後も研修に出せない状況は続くと思われるため、「集合研修」と「Web 研修」を併用していく必要がある。

